

Welcome to the サイエンス・ワールド!!

2013, 1, 28(月)

第57号

那覇市立教育研究所
理科通信



以前、教職員派遣研修でニュージーランドに行ったことがあります。南極に一番近い国であり、南極点に到達したアムンゼンやスコットもこの国を拠点にしていました。現在でも、各国の南極観測隊の中継点になっているそうです。

さて、南極と北極、どちらが寒いのでしょうか。どちらも寒いというイメージがあるのは確かです。

南極は大陸で囲まれているのに対し、北極は、まわりを大陸に囲まれた海です（凍ってはいませんが）。小学校4年生の「もののあたたまり方」で学習したように、水は温まりにくく、また冷えにくい、陸地の方はずっと温まりやすく冷えやすい性質を持っています。

さらに、北極には氷山がありますが、その高さはせいぜい数十メートル。これに対して南極の方は大陸ですから、何千メートル級の山があります。こうした地形を考え合わせると、南極と北極の温度の違いはおのずとはっきりしてきます。

では、実際に、最も温度が低くなる条件、つまり、太陽が昇らず一日中夜が続く時期（白夜）に気温を計ると、南極大陸の中心部ではマイナス60℃以下。北極ではマイナス30℃からマイナス40℃程度。南極の方が寒いということになります。



オウサマペンギン(キングペンギン)

北極でマイナス30℃というと、その数字を聞いただけで寒いように思えるのですが、これが思うほど寒くないようです。北極では風が大変弱いので、吹雪にでもならない限り、寒さはしのぎやすいようです。これに対して南極では中心部で冷たくなった空気が大陸のまわりに流れ出してくるので、強い風が吹きます。このように温度と風の影響で、ますます南極は寒く感じるのです。（文責：玉村かおり）

←卵を足の甲の上にのせ、お腹の皮膚をかぶせて温めている。



スコット隊の雪上車(カンタベリー博物館)